

ロックウェル・オートメーションのMES — FactoryTalk® ProductionCentre —



expanding human possibility®

自社での実装経験に裏打ちされた高い信頼性

ロックウェル・オートメーションのMESは、お客様はもとより製造業としての自社のベストプラティスをもとに20年近くにわたり開発を行なっておりまます。また、その豊富な実績と実装のしやすさから、各種市場調査で高い評価を受けており、富士経済の調査レポート^{*1}では、世界市場でトップシェアとされています。

高い評価の理由：

ロックウェル・オートメーションのMESソリューションとサービスは、お客様より高い評価をいただいております。

1. 産業ごとの知見やノウハウを兼ね備えた技術集団と、それらのベストプラティスを集積した「産業テンプレート」によりお客様の構築のコストや時間を削減可能(製薬、タイヤ、自動車、消費財)
2. 御社内のグローバル拠点・ユーザ様をサポートするロックウェル・オートメーションの「グローバル組織」
3. MESの接続先となるERP/SCMなどのシステム連携は当然のこと、ファクトリーオートメーション企業としてISA-95下位層(設備・制御)との接続までを視野に入れた製品構成と、その構築・実装のご提供が可能なサービス部門

MESAが定義する11の機能

- 生産資源の配分と監視
- 作業のスケジューリング
- 差立て・製造指示
- 仕様・文書管理
- データ収集
- 作業者管理
- 製品品質管理
- プロセス管理
- 設備の保守・保全管理
- 製品の追跡と製品体系の管理
- 実績分析

ISA-95の5つの階層モデル



*1 出典：『2021年版DIGITAL FACTORY関連市場の実態と将来展望』
(株式会社富士経済 2021年11月15日発行) P99 MESの世界市場販売金額(2020年実績)

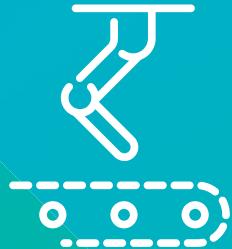
主要産業ごとのテンプレート

製造プロセスを整理しスクラッチで工程としてシステムを作りこんでいくのは大変な手間と時間が必要ですが、ロックウェル・オートメーションは特定の産業について、製造プロセスをある程度テンプレート・パッケージ化した「産業テンプレート」の提供が可能です。またテンプレートを出発点としたカスタム要件の開発やテンプレートなしの開発もちろんご選択いただけます。

* 製薬、消費材、自動車、タイヤ、鉱山、製鉄、各種組立て産業

段階的な拡張の実現をスムーズに

特定拠点でのスタートを行ない、それらの結果を目に見える形で可視化し、その成功事例を全社横断的に水平展開するアプローチ、本社拠点に全拠点情報を集中させつつ工場側の生産を滞りなく可能にするアプローチなど柔軟な製品アーキテクチャと経験とノウハウをご提供によりお客様の新しい企業価値の実現に貢献いたします。



Ever Greenコンセプト

わかりやすい文書やツールのご提供を通して、バージョンアップによる負担を極力最小化するような製品開発を行なっております。

機能別モジュール概要

 **FactoryTalk® Production**
生産指図、実績管理、トレーサビリティ、シリアル番号管理、
ジネオロジ、仕掛品管理、eかんばん、ポカヨケ(ヒト・モノ)、
RFID・バーコード、ディスパッチング、JIT・Just In Sequence

 **FactoryTalk® Warehouse**
入出庫、在庫管理、原材料・仕掛品・最終製品管理、
RFID・バーコード

 **FactoryTalk® Quality**
分析レポーティング機能、SPC、CAPA、21CFR、HACCP、
CGMP(FDA)

 **FactoryTalk® Performance**
総合設備効率、MTTR、MTBF、ISO22400、Industry4.0 KPI
管理、設備データ管理

自社で実践

ロックウェル・オートメーションは120年以上、革新的な製品生産を通じてさまざまな生産プロセスや技術・産業知識を蓄積し、ISA-95標準の制定にも貢献して参りました。弊社では、世界18工場での53,000品種すべての製品の生産に統一されたMES (FactoryTalk ProductionCentre: FTPC)で実際に生産しており、製品の信頼性や生産性・開発で「完全」を絶えず追及しています。

弊社では生産設備はモジュール化され、MES上でプロセスがモジュール化モデルで定義され、そのモジュールの組み合わせでシステム定義、システム稼働を可能となっています。また、製品製造にかかるすべてのデータを収集する共通のプラットフォームとしても機能しており、新製品やグローバル生産拠点で短期かつ効率的な生産立ち上げが可能になっています。



問い合わせ先:

ロックウェルオートメーションジャパン株式会社

問い合わせフォーム: <https://www.rockwellautomation.com/ja-jp/company/about-us/contact-us.html>